

自身への眼差し

2022年

1月7日金 - 2月20日日

9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日 ※ただし1月10日(月・祝)開館、翌11日(火)休館
観覧料 一般:1,100円(1,000円) 大学生:800円(700円)
()内は前売および20名以上の団体

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料 ※本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

主催/周南市美術館、読売新聞社、KRY 山口放送
後援/山口県、山口県教育委員会、周南市・下松市・光市・田布施町および各教育委員会
企画協力/公益財団法人日動美術財団

白画像展

なぜ画家は自分を見つめるのか?



周南市美術館

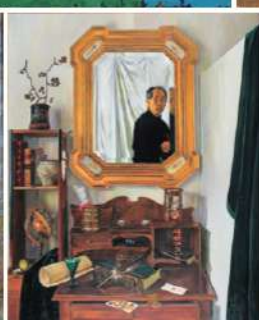
Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880

18歳以下
無料



<http://s-bunka.jp/bihaku/>
@Shunan_bihaku
@Shunan_bihaku

(上から順に左から右へ) 岸田劉生「自画像」1913年 / 嶋屋吟「自画像(絶筆)」1985年 / 宮崎進「自画像」1953年 ※
町田結香「ひとまかせ」2016年 / 井上悟「2010年自画像」2010年 / 前田美二「自画像」1930年
高橋由一「丁髷姿の自画像」1866-67年 / 関光市「シッパラを待つ私」2008年 / 遠藤彰子「自画像『金曜日の午後』」2012年
城戸義郎「画家の部屋II」制作年不詳 / 松樹路人「歳月」1990年 ※は周南市美術館蔵 それ以外はすべて笠岡日動美術館蔵



自身への眼差し 自画像展

百人
百画

あの「蛙」の絵でおなじみ、江戸生まれの洋画家

なぜ画家は自分を見つめるのか？



高橋由一 「丁髷姿の自画像」
一八六六―一八七七年

「自画像」が描かれ始めたのは西洋、ルネサンス期と言われています。画家の存在が職人から芸術家へと変化し、自己の確立とともに内面の探求となる「自画像」へと表現が結びついていきました。そして今なお多くの画家は、自己をみつめる手段として自画像を描いています。

本展では、笠間日動美術館が所蔵する明治から現代までの約100人の自画像を紹介します。高橋由一、岸田劉生、鴨居玲ら日本を代表する画家とともに、ピカソ、キスリング、シャガールら海外作家も一堂に会します。さらに特別展示として、自画像とあわせて当館所蔵の宮崎進、前田麦二などの作品や周南市出身の写真家・林忠彦が撮影した画家のポートレートも展示します。

「自分とは何か」を問いかけながら描いた芸術家たちの個性豊かな自画像をぜひご覧ください。

〈特別展示〉自画像(左)と写真(右)を見比べてみよう!

画家が自分自身をどのように描いたかわかるかも!?



宮本 三郎 「画室の自画像」1968年
© Mineko Miyamoto 2021/JAA2100286



林 忠彦撮影「宮本三郎」(「日本の画家」より)※

◆何人かの画家については自画像とともに、林忠彦が撮影した写真を展示します。

※は周南市美術博物館蔵 それ以外はすべて笠間日動美術館蔵



木津 文哉「自画像」2018年

昔懐かしいモチーフを
ポップに描く造形作家



参考展示

宮崎 進 パレット

ご協力のお願い

当館では、みなさまに安心してご来館いただけるよう、新型コロナウイルス感染防止の対策を行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。



体調不良、せき、発熱がある場合は、ご来館をお控えください。



マスクの着用をお願いします。



入館の際は、体温測定にご協力ください。37.5℃以上の方は入館をお断りさせていただきます。



入館時には緊急時連絡先のご記入をお願いします。

◆来館者が多い場合には入場制限をさせていただくことがあります。

◆団体鑑賞は受けできない場合があります。

〈新型コロナウイルスの感染状況により、中止・変更等の場合もあります。最新の情報は、当館ホームページにてご確認ください。〉

周南市美術博物館



交通案内

徒歩 ● JR徳山駅から約20分
車 ● 山陽自動車道徳山東ICから国道2号線を下関方面へ
バス ● 徳山駅みゆき口 バスターミナル6番乗り場「バイパス経由」→「動物園文化会館入口」下車→徒歩3分
※詳しくは 防長交通(周南営業所)へ TEL (0833) 43-2200
駐車場 159台(催し物により他施設と共用となる場合があります。ご了承ください)

美術博物館の行き帰りに

ちよい乗り
100円
バス

おとな(中学生以上)1乗車100円(小学生以下無料)

4分 徳山駅 → 美術博物館 16分

土・日・祝のみ 9~17時台まで20分おきに運行

- 徳山駅前発 毎時 [00 20 40]
(徳山駅からのご乗車は、駅北口の西側ローソン前の「8番のりば」をご利用ください。)
- 美術博物館前発 毎時 [16 36 56]
(パークアンドライド駐車場前)

周南市美術博物館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880



http://s-bunka.jp/bihaku/
@Shunan_bihaku
@Shunan.bihaku